

## 事業評価票（監理団体への支出予算）

31	海外青少年の教育旅行受入促進（産業労働局）	団体名	（公財）東京観光財団	区分	委託	28年度予算額	14,630 千円	27年度決算額	10,204 千円						
事業内容・団体への支出理由		<ul style="list-style-type: none"> <li>海外から東京への教育旅行（都内中高等学校との交流等）を促進することで、将来的な東京へのリピーターを育成し、訪都外国人旅行者の更なる増加へと繋げていくとともに、若年層の交流拡大による国際相互理解の促進を図る。</li> <li>当該団体は、公平な立場で東京の観光振興を推進し、国内外旅行者の様々なニーズに対応するための知識と経験を兼ね備えた唯一の団体である。</li> </ul>													
成果・決算状況・課題等		<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度の教育旅行の実績は、学校交流実施数30件、交流学生数948名であり、いずれも19年度の事業開始後最多となった。</li> </ul>													
見積概要（局評価）		<ul style="list-style-type: none"> <li>観光庁アクション・プログラム2015に「海外からの教育旅行」が明記され、訪日教育旅行受入促進検討会が発足するなど、訪日教育旅行の重要性を改めて認識されている。</li> <li>訪日意欲が高い（日本語学習者第4位）オーストラリアを対象市場に追加することで、将来の訪日旅行者獲得をより一層推進する。</li> </ul>						拡大 充実	見直し 再構築	移管 終了	その他	29年度見積額 19,945 千円			
行政改革推進部 評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>本事業は、都への訪日外国人旅行者の増加、若年層の交流拡大による国際相互理解の促進に資するものである。</li> <li>実施にあたっては、海外及び日本側双方のニーズに対し、的確で公平なマッチングを行う必要があり、客観的な立場から特定の学校や地域等に偏ることなく事業を実施できる本財団への委託は妥当である。</li> </ul>						適正性、実施状況等からの評価				拡大 充実		見直し 再構築	継続実施
財務局 評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>本事業は、若年層による交流拡大を通じた国際相互理解の促進や訪日意欲の向上に寄与し、将来的な東京へのリピーター育成につながる取組として、引き続き本財団へと委託することは妥当であると認められるため、見積額のとおり計上する。</li> </ul>						拡大 充実	見直し 再構築	移管 終了	その他	29年度予算額 19,945 千円			

  

32	ウェルカムボードの設置等（産業労働局）	団体名	（公財）東京観光財団	区分	補助	28年度予算額	162,710 千円	27年度決算額	121,087 千円						
事業内容・団体への支出理由		<ul style="list-style-type: none"> <li>観光地図や観光施設等を掲載したウェルカムカードを作成し、配布することにより、旅行者の利便性向上を図っている。</li> <li>当該団体は、公平な立場で東京の観光振興を推進し、国内外旅行者の様々なニーズに対応するための知識と経験を兼ね備えた唯一の団体である。</li> </ul>													
成果・決算状況・課題等		<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度ウェルカムカードの作成実績は、ハンディマップ216.5部、ハンディガイド175万部となっており、急増する旅行者に対応するため近年増加傾向である。増刷することにより、在庫管理が困難になるとともに、コスト増も課題となっている。</li> </ul>													
見積概要（局評価）		<ul style="list-style-type: none"> <li>ハンディマップとハンディガイドを統合し、質の高い「トラベルガイド」を400万部作成する。</li> <li>冊子を統合することにより経費の節減を図る。</li> </ul>						拡大 充実	見直し 再構築	移管 終了	その他	29年度見積額 209,968 千円			
行政改革推進部 評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>本事業は、ウェルカムカード（ハンディガイド・ハンディマップ）を作成し、配布することで旅行者の利便性向上に資するものである。</li> <li>旅行者の特性や趣向・ニーズを中立的な立場で把握し、市場に応じた適切な情報発信をする必要があるため、特定の団体や地域に偏らない公正中立な立場で情報提供を行うことが可能な本財団が実施することは妥当である。</li> </ul>						適正性、実施状況等からの評価				拡大 充実		見直し 再構築	継続実施
財務局 評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>外国人旅行者のニーズに即した形でのウェルカムカードの見直しであり、引き続き都の外国人旅行者誘致施策として重要性が認められるため、見積額のとおり計上する。</li> </ul>						拡大 充実	見直し 再構築	移管 終了	その他	29年度予算額 209,968 千円			